



〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349
E-mail info@nagano.jtuc-rengo.jp http://www.rengo-nagano.jp/
フェイスブック https://www.facebook.com/rengonagano/

働く者の声を行政に届けよう 「働くこころを軸とする安心社会」をめざして

雇用の確保・創出、政策制度実現に向けた取り組み 2020連合長野政策討論集会を開催 —政策委員会—

連合長野政策委員会(西澤 忠司委員長:自治労・連合長野副会長)は、9月26日(土)、長野市ホテル信濃路において、組織内議員および推薦議員との連携をさらに深め、重点として運動方針の柱に位置付けている政策制度実現に向けた取り組みを強化する目的で、推薦県議会議員・市町村議員参加のもと、2020連合長野政策討論集会を開催した。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対象者は政策委員に限定し、根橋会長、西澤政策委員長をはじめとする政策委員・事務局、推薦県議会議員・市町村議員30名が出席。小規模な開催となったが、構成組織・地域協議会を通じて組合員から寄せられた政策アンケートにもとづき政策委員会が取りまとめた「2020県政への要求と提言(案)」をもとに、新型コロナウイルスによる産業・雇用・暮らしへの影響・課題や県政全般について意見交換を行った。

冒頭、根橋会長より、昨年台風19災害の対応やコロナ禍による県内情勢および連合長野政策の課題やコロナ禍によるニューノーマルへの取り組みの必要性に触れ、「働く者・生活者の立場にたった政策実現のためには、組織内議員をはじめ推薦県議会議員・市町村議員の皆さんとの連携は必要不可欠であり、地域協議会も含め日常的な関係をより深めていきたい」と挨拶した。

続いて政策委員会を代表して西澤政策委員長から、「組合員の声に基づいて策定した「県政への要求と提言」について、多角的な視点からの議論を通じてさらに深めていきたい。また、各市町村議会においても、意見反映ができるよう地域との連携も図っていきたい」と挨拶した。



出席議員からの近況報告の後、小日向副事務局長から「県政への要求と提言」のポイント(重要項目)と策定スケジュールについて説明を行った後、意見交換が行われた。

意見交換では、新型コロナウイルス関連対策として、「定時制高校に通う学生の教材費支援」「エッセンシャルワーカーへのPCR検査の実施を含む検査体制の拡充」「貸し切りバス会社への支援策」など、県政全体としては、「各市町村における公契約条例の制定」「長時間労働削減・36協定の周知」「新たな雇用創出としての農福連携の推進」などに加え、政策討論集会内容や「県政への要求と提言」のフィードバック、各推薦議員との連携の工夫など、今後の連合長野・地協の取り組みのヒントとなるご意見も多くいただいた。

連合長野・政策委員会は、11月から12月にかけて、「県政への要求と提言」に関する部局折衝および県知事要請を予定している。今回の政策討論集会にて深めた議論を踏まえ、県内のすべての働く者のクラシソコアゲに向け、労働者・生活者の視点より、様々な政策議論への意見反映を行っていく。



挨拶する西澤忠司政策委員長

働く女性のための交流学習会を開催

—男女平等参画推進委員会—

男女平等参画推進委員会(村田 由紀子委員長:自治労・連合長野副会長)は、9月24日(木)松本市、9月26日(土)長野市の2日間にかけて、次代を担う女性役員育成、女性役員のエンパワーメントを図ることに加え、地域・産別の枠を超えた女性役員・組合員のネットワークづくりを目的とした「働く女性の交流学習会」を開催した。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策として、参加方法を、会場への参集とWeb(zoom)による参加の2つ設定し、会場も松本と長野の2か所にかけて開催した。

第1部(Web講演)は、連合総合政策推進局 総合局長 井上久美枝氏より、「男女平等参画社会をめざして」と題し、政労連初の女性中央執行委員になったきっかけ、書記長や中央執行委員長など三役ポストでの経験などから、女性が意思決定機関に加わることの重要性や参画することの楽しさ、責任を受ける覚悟などについてお話いただいた。第2部は、グループに分かれた分散交流会、最後は、全体発表として、「男女平等参画社会をめざして」をテーマに、①大切にしたいこと、②これから取り組みしたいこと・始めたいこと、



についてカードに記入し、一人ずつ発表した。

今年は、新型コロナウイルス対応による様々な制約やネット環境が整っていないこともあり、全体的な参加者は、Web参加者10名、会場参加者20名と少なかったが、参加者からは、「女性ならではの話が聞くことができ参考になった」「男性は席を譲る勇気を、女性は責任を受け止める覚悟を」という言葉が印象的だった。「Web併用の会議ができれば多くの人と交流ができると思う」など、感想をいただいた。

女性参加者同士が気軽に交流でき、働くうえでの悩みや課題の共有、学習を深める講座となるよう、次年度においても企画・運営を工夫し開催していく。

<講演要旨>

- 多様性が尊重される社会に向けては、ジェンダー・バイアスや固定的性別役割分担意識の払拭が必要であり、一人ひとりの意識(無意識も含む)の変革が必要である。
- 「女性役員が少ない」→「女性役員に仕事が集中」→「ワーク・ライフ・ユニオン・バランスの崩壊」→「忙しくて男女平等参画の取り組みが進まず」→「大変そうだからと他に女性のなり手がいない」→「女性役員が少ない」という悪循環が、女性役員が少ない原因であり、男性役員にも同様のことがいえる。
- 自分自身が楽しみながら組合活動をしていくことが大切。責任をとるもなう大変さも楽しさに変えてほしい。



新しいスタイルでの集合写真

長野ろうきんなら、もしものときも安心!

住宅ローン選択宣言

団体信用生命保険付+選べる3つの保険

ご融資年数 最長40年

はたらく人の想いと生きる
長野ろうきん



長野からアフリカ・マリ共和国へ 国際協力田で稲刈り・脱穀を実施 —国民運動・環境委員会—

国民運動・環境委員会(和田 喜雅委員長:電力総連・連合長野副会長)では、JAグループなどが中心となり飢餓で苦しむ西アフリカのマリ共和国へお米を届ける活動の趣旨に賛同し、毎年田植えから収穫まで米作りの取り組みを行っている。今年も休耕田を借用しての『国際協力田運動』を始めて11年目となり、9月～10月にかけて安曇野・長野の二か所の協力田で稲刈りと脱穀が行われた。安曇野協力田は前日に降った雨の影響

により予定していた9月12日の稲刈り作業は中止となったが、長野協力田は薄曇りの天候ではあったものの、長野地域協議会の役員13名が集まり、10月3日に稲刈りを実施することができた。

安曇野田での収量は317kg、長野田は282kgの収量であった。各地域より集約された米は、最終的には来年1月中旬頃の国際協力田米発送式を経て船便でマリへ発送される予定となっている。



安曇野協力田(9月12日)

(長年ご協力いただいていた土地所有者へ田んぼを返却することになったため、安曇野協力田は、今年で終了することになりました。来年度からは新たな場所において実施する予定です。)



長野協力田(10月3日)



連合長野ふれ愛資金より3団体へ贈呈を行う —国民運動・環境委員会—

連合長野では、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けての活動の一つとして、組合員からカンパを募り「連合長野ふれ愛資金」として、社会貢献活動として取り組むNPO団体等の事業・プログラムへの支援及び自然災害等による被災者に対する救援・支援の活動に対し、助成(寄

付)金として支援を行っている。

本年もふれ愛資金から「サンタ・プロジェクト」(外国籍児童就学支援事業)、満蒙開拓平和記念館、日本聴導犬協会の3団体へ各30万円の寄付金贈呈を行った。本年はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から、毎年行っていた連合長野年次大会時の寄

求めています。 土地・中古住宅情報

長野県下全域に1,700戸を超える優良宅地『レインボータウン』を分譲しました。
まずは信頼の住宅生協にご相談ください。

長野県知事(10)2490号
長野県労働者住宅生活協同組合

〒380-0838長野市東町523番地 ろうせんビル7F **tel.026-234-0283**
松本事務所/〒390-0841 松本市渚1丁目2-1 **tel.0263-88-5061**

土地を売りたい

中古住宅を売りたい

買取り価格の査定をして欲しい

長野県住宅生協 検索 <http://www.jyusei.jp/>

付金目録贈呈式が取り止めとなったため、代表して、和田国民運動・環境委員長が直接現地へ赴き、寄付金贈呈を行った。9月10日(木)、満蒙開拓平和記念館へは飯田地域協議会 竹村議長が、日本聴導犬協会は上伊那地域協議会 赤羽議長が地元地協として帯同。「サンタプロジェクト」へは10月6日(火)に

それぞれ視察および意見交換を行った。

国民運動・環境委員会では、引き続き、視察の実施や団体との意見交換を通じて、組合員一人ひとりからいただいた浄財を、ふれ愛資金の目的に沿った社会貢献活動に取り組んでいるNPO団体等への支援行動へとつなげていく。

～団体・寄付状況紹介～

●「サンタプロジェクト」(外国籍児童就学支援事業)

経済的に困難な状況にある外国籍児童に対する就学援助金の支給や、県内母国語教室の教育環境向上のための助成、教科書購入並びに健康診断費用の助成、外国籍児童の日本語習得支援活動を行う団体等への活動助成等を行っており、その中でふれ愛資金が活用されている。『連合長野ふれ愛資金』の寄付は2003年から始めて、2013年以降は年30万円を寄付しており、寄付総額は475万円となった。

●満蒙開拓平和記念館

第2次世界大戦や満蒙開拓の歴史を後世に伝える一地域・長野県のみならず全国に発信する記念館となっており、連合長野の各地協の平和運動の取り組みとして利用されている。

この記念館は、長野県や南信州広域連合など様々な団体・個人の寄付で建設されており、国民運動・環境委員会では、2014年8月の委員会にて、運営を支える寄付

を継続的に行っていくことを確認し『ふれ愛資金』から寄付を行っている。2014年からの総額は210万円になった。

2019年の10月にセミナー棟完成の式典が開催され、来館者が100人以上は入れる「セミナールーム」と証言映像や戦時中の映像を見られる「映像ルーム」が設けられている。

●日本聴導犬協会

2008・2010年度に長野県電力総連の推薦で植栽費用やフェンス設置費用として『ふれ愛資金』から合計66万円を寄付している。

2015年以降は『ふれ愛資金』より継続的に毎年30万円の寄付を行っている。この寄付金は、日本聴導犬協会で育成している聴導犬・介助犬などの補助犬で協会に残る「PR犬」やユーザーの事情で協会に帰ってきている「引退犬」、候補犬から外れた「里親さんがつかない犬」たちの医療費をみるための『タカちゃん基金』に充てられている。

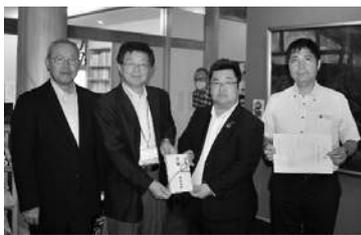
また、聴導犬は元保護犬から育成しており、聴導犬に

なる成功率は25%と言われている。障がいのある方からの依頼で、聴導犬と介助犬の動きができる多目的補助犬の育成も行っている。

協会創設から22年間で、聴導犬31チーム(現役11チーム)と介助犬11チーム(現役5チーム)が活躍している。



サンタプロジェクト
左から和田委員長 篠原常務理事兼事務局長



満蒙開拓記念館(阿智村)
左から清水副館長 寺沢館長 和田委員長 竹村議長



日本聴導犬協会(宮田村)
左から赤羽議長 和田委員長 訓練スタッフ野崎さん



マイカー共済

自動車総合補償共済

① 基本補償

(人身傷害補償) 最高 5,000万円

(対人賠償・対物賠償) 無制限

② お車の補償

(車両損害補償) 一般補償

(自己負担額 10万円)

③ 割引制度と特約を組み合わせましょう

安心が広がる特約と共済掛金をおトクにする割引もご用意しています。

無事故割引制度 最大22等級 64%割引

特約や割引制度を合わせて掛金をおトクに!

運転者年齢条件	子供特約	運転者本人・配偶者限定特約	新車割引
衝突被害軽減ブレーキ(AEB)割引	ハイブリッド車割引	複数契約割引	
セカンドカー割引	福祉車両割引	人身傷害の補償共済自動車共済へのみの特約	

安心の特約はさまざまな場面であなただけをサポート!

井置土費用等補償特約	自転車賠償責任補償特約
交通事故危険補償特約	マイバイク特約

〈補償の重複についてのご注意〉
次の補償または特約をご契約される場合、発共済自動車以外にも自動車や二輪自動車(原付自転車を含みます。以下この文章において同様とします。)を所有され、その自動車や二輪自動車に、同種の補償を ご契約されているときは、主たる共済者またはそのご家族の補償が重複することがあります。
人身傷害補償、衝突被害軽減ブレーキ(AEB)割引、ハイブリッド車割引、複数契約割引、マイバイク特約
※上記の補償や特約を1契約のみにご契約されている場合、その契約が解約されたときやご家族の状況等が変わったときは、「補償されない」ということがありますので、ご注意ください。
※ご契約にあたっては、補償内容を充分にご確認いただくとともに、詳しくは担当者までお問い合わせください。

自賠責共済とあわせてのご加入をおすすめします。